

経済水道委員会説明資料

名古屋市総合計画2023における
観光文化交流局関連施策・事業について

令和元年9月20日

観光文化交流局

目 次

	ページ
1 主な変更一覧（観光文化交流局）・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 施策・事業（観光文化交流局）	
(1) 該当施策一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(2) 施策・事業ページ（抜粋）・・・・・・・・・・・・・・・・	6

(別添)

- 名古屋市総合計画2023（案）に対する市民意見の内容
及び市の考え方

1 主な変更一覧（観光文化交流局）

区 分	変 更 前	変 更 後	掲 載 ページ
第5章 めざす都市像の実現に向けた施策・事業			
3 取り組む施策・事業			
施策37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します			
<p>【施策の柱】</p> <p>①名古屋城など歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり</p>	<p>【本文】</p> <p>また、武家文化や文化のみち、有松をはじめとした市内の歴史的建造物や町並み、文化財、人々の伝統的な営みの保存・活用などにより、名古屋の歴史・文化を身近に感じられるまちづくりを進めます。</p>	<p>【本文】</p> <p>また、武家文化や文化のみち、<u>日本遺産に認定された</u>有松をはじめとした市内の歴史的建造物や町並み、文化財、人々の伝統的な営みの保存・活用などにより、名古屋の歴史・文化を身近に感じられるまちづくりを進めます。</p>	339

区 分	変 更 前	変 更 後	掲 載 ページ
【施策を推進する事業】 417 名古屋城の整備	【計画目標】 天守閣 ▶ <u>竣工（令和4年度）</u>	【計画目標】 天守閣 ▶ <u>整備推進</u>	341
【施策を推進する事業】 421 名古屋城を核とした魅力向上の推進	【事業概要】 名古屋城を起点とした、有松・桶狭間までの「歴史・文化魅力軸」と、名古屋港地区までの「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの魅力軸における回遊性の向上をはかるため、 <u>軸上の各エリアと名古屋城を結ぶマップの作成やイベント等を行い、魅力を創出・発信</u>	【事業概要】 名古屋城を起点とした、有松・桶狭間までの「歴史・文化魅力軸」と、名古屋港地区までの「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの魅力軸における回遊性の向上をはかるため、 <u>名古屋城と各エリアを結ぶマップの作成やイベントの実施、水上交通を推進する堀川・中川運河などの各エリアの積極的なプロモーションにより、魅力を創出・発信</u>	342
【施策を推進する事業】 426 歴史まちづくり事業の推進	【事業概要】 「歴史・文化魅力軸」上に位置づけられている <u>東海道</u> や核となる <u>熱田・有松</u> などの歴史・文化の魅力を向上・発信するため、啓発事業や、拠点となる公開施設の整備を実施	【事業概要】 <u>日本遺産に認定された有松</u> をはじめ「歴史・文化魅力軸」上に位置づけられている <u>東海道</u> や <u>熱田</u> などの歴史・文化の魅力を向上・発信するため、啓発事業や、拠点となる公開施設の整備を実施	342

区 分	変 更 前	変 更 後	掲 載 ページ
施策38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します			
<p>【施策を推進する事業】 446 歴史観光の推進</p>	<p>【事業概要】 名古屋の歴史的な魅力の掘り起こしや情報発信に継続的に取り組み、観光客の誘致及び都市ブランドの醸成をはかるため、信長、秀吉、家康などの武将を観光資源として磨き上げ発信するとともに、有松、桶狭間、大高地区の観光魅力向上や「名古屋おもてなし武将隊」を活用した観光PR等を実施</p>	<p>【事業概要】 名古屋の歴史的な魅力の掘り起こしや情報発信に継続的に取り組み、観光客の誘致及び都市ブランドの醸成をはかるため、信長、秀吉、家康などの武将を観光資源として磨き上げ発信するとともに、<u>日本遺産に認定された有松や、桶狭間、大高地区の観光魅力向上や「名古屋おもてなし武将隊」</u>を活用した観光PR等を実施</p>	351
<p>【施策を推進する事業】 456 高級ホテルの立地促進</p>	<p>【事業名】 <u>ラグジュアリーホテルの立地促進</u></p>	<p>【事業名】 <u>高級ホテルの立地促進</u></p>	354
<p>【施策を推進する事業】 461 MICEの誘致推進</p>	<p>【現況】 実施 ▶ MICE開催助成件数 5件 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用者数 <u>2,795,186人</u> (平成29年度) ▶ 国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全展示施設 平均 <u>50.2%</u> 国際会議場主要3ホール 平均 <u>80.8%</u> (平成29年度)</p>	<p>【現況】 実施 ▶ MICE開催助成件数 5件 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用者数 <u>2,756,463人</u> ▶ 国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全展示施設 平均 <u>55.9%</u> 国際会議場主要3ホール 平均 <u>83.2%</u></p>	355

区 分	変 更 前	変 更 後	掲 載 ページ
施策39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます			
<p>【施策の柱】</p> <p>②スポーツを活かした魅力の創出・発信</p>	<p>【本文】</p> <p>名古屋を拠点とするトップ・スポーツチームとの連携による「でらスポ名古屋」や、大規模競技大会・スポーツイベントなどを活用したスポーツプロモーションにより、スポーツを新たな名古屋のブランドとして確立していくとともに、スポーツツーリズムの促進などにより訪問客の増加をはかります。</p>	<p>【本文】</p> <p>名古屋を拠点とするトップ・スポーツチームとの連携による「でらスポ名古屋」や、大規模競技大会・スポーツイベントなどを活用したスポーツプロモーションにより、<u>「する」「みる」「ささえる」といった幅広い分野</u>でスポーツを新たな名古屋のブランドとして確立していくとともに、スポーツツーリズムの促進などにより訪問客の増加をはかります。</p>	357
<p>【施策を推進する事業】</p> <p>469 スポーツを活かした魅力の創出・発信</p>	<p>【計画目標】</p> <p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模スポーツイベントの誘致・開催によるプロモーション効果の調査 ▶ スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりの<u>検討</u> 	<p>【計画目標】</p> <p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模スポーツイベントの誘致・開催によるプロモーション効果の調査 ▶ スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりの<u>推進</u> 	360

2 施策・事業（観光文化交流局）

（1）該当施策一覧

施策 番号	施 策 名	掲 載 ページ
16	災害に強い都市基盤の整備を進めます	223～229
34	国際的に開かれたまちづくりを進めます	325～329
36	魅力的な都市景観の形成を進めます	335～338
37	歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します	339～347
38	観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します	349～356
39	スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます	357～360

(2) 施策・事業ページ (抜粋)

都市像3 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち

施策16 災害に強い都市基盤の整備を進めます

施策の柱

① 地震に強い都市基盤の整備

南海トラフ巨大地震などの大規模地震に備え、市設建築物や橋りょう、地下鉄構造物、上下水道施設、河川堤防などの都市基盤施設の耐震化に取り組みます。特に、緊急輸送道路*においては、橋りょうの耐震化や電線類の地中化を推進し、災害時の機能確保を進めます。

② 大雨に強い都市基盤の整備

河川・下水道等の整備を推進することで、全市域を対象に1時間63mmの降雨に対して浸水被害をおおむね解消するとともに、1時間約100mmの降雨に対しても床上浸水をおおむね解消し、市民の生命財産を守るとともに都市機能の確保をめざします。また、雨水を一時的に貯留または浸透させることで河川や下水道等への負担を軽減させるため、公共施設において雨水流出抑制*の推進をはかるとともに、市民や事業者に対する雨水流出抑制の普及・啓発につとめるなど、治水安全度を高める取り組みを進めます。

③ 臨海部の防災機能の強化

防潮壁、防潮水門及び耐震強化岸壁の整備・機能強化を促進し、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模地震と、それに伴う津波に備えます。

成果指標

指 標	直近の現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
災害に強いまちづくりができている と思う市民の割合	51.8%	55%	65%
緊急輸送道路等にかかる橋りょうの 耐震化率	66.1%	75%	89%
緊急雨水整備事業の整備率	91.8%	96%	100%

関連する個別計画

- ◆地域防災計画 ◆災害対策実施計画 ◆地域強靱化計画 ◆震災に強いまちづくり方針
- ◆建築物耐震改修促進計画 ◆無電柱化推進計画 ◆総合排水計画 ◆河川整備計画
- ◆緊急雨水整備事業 ◆第3期教育振興基本計画 ◆市営交通事業経営計画2023

*緊急輸送道路：災害の発生により道路が被害を受けた場合、緊急通行車両の移動の確保及び人・物資輸送を円滑に行うため、緊急に応急復旧を要する道路。

雨水流出抑制：雨水を一時的に貯めたり地下に浸透させたりして、河川・下水道への雨水流出量を抑制すること。

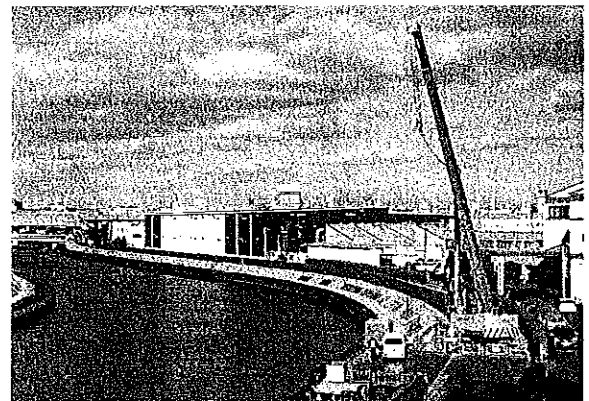


現状と課題

① (現状) 平成 23 (2011) 年 3 月の東日本大震災、平成 28 (2016) 年 4 月の熊本地震、平成 30 (2018) 年 6 月の大阪府北部の地震、9 月の北海道胆振東部地震など、大規模地震とそれに伴う津波等により、全国各地で多大な被害が生じています。

また、南海トラフ巨大地震の発生確率は、今後 30 年以内に 70~80%と切迫度を増しており、本市では発生時に最大の死者数が約 6,700 人、最大の建物全壊・焼失棟数が約 66,000 棟という甚大な被害が想定されています。

◇ 河川堤防の耐震対策 (山崎川)

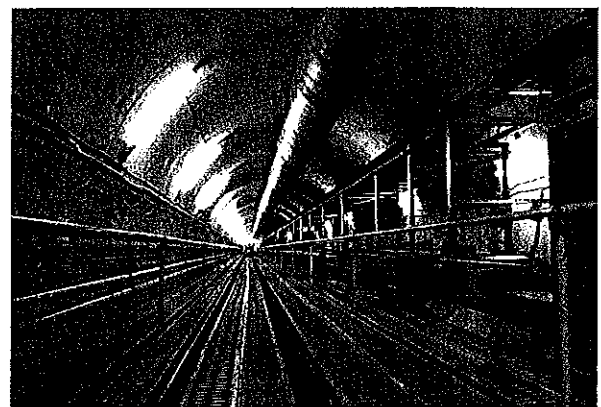


【課題】大規模地震発生時の被害を抑えるため、行政による一層の都市基盤施設の耐震化が求められています。

② (現状) 全国的に大雨が増加傾向にあり、平成 30 (2018) 年 7 月豪雨 (西日本豪雨) など、これまでに経験したことのないような大雨により、各地で甚大な被害が発生しています。市内でも、1 時間 50mm を超える豪雨が増加しており、雨の降り方が激甚化しています。

本市では、これまで 1 時間 50mm の降雨に対応した河川・下水道などの施設整備をおおむね完了しています。また、平成 12 (2000) 年 9 月の東海豪雨などで著しい浸水被害が集中した地域などを対象に、原則 1 時間 60mm の降雨に対応する施設整備を実施しており、これにより、名古屋地方気象台における過去最高の 1 時間降雨量 97mm の降雨に対して床上浸水のおおむね解消をめざしています。

◇ 名古屋中央雨水調整池の整備



【課題】大雨による洪水・内水氾濫による被害を防止・軽減するため、平成 30 (2018) 年度に見直しを行った「総合排水計画」に基づき、河川・下水道等が連携した施設整備を推進することで治水機能を最大限発揮するとともに、雨水流出抑制を着実に推進していく必要があります。

③ (現状) 名古屋港は、中部地域の海の玄関口として日本のものづくり産業を支えています。本市では、防潮壁の改良、耐震強化岸壁の整備・機能強化など、名古屋港の防災機能の強化を促進しています。

【課題】地震・津波などの大規模災害から背後住民の生命・財産や背後地域の産業活動を守るため、引き続き防災施設の一層の機能強化が求められています。

施策を推進する事業

① 地震に強い都市基盤の整備

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
185 市有建築物の 天井等落下防 止対策	地震発生時に施設利用者の安全を確保するため、名古屋市建築物耐震改修促進計画に基づき、対策が必要な市有建築物の天井等落下防止対策を実施	実施	実施	観光文化 交流局 教育 委員会 はじめ 関係局

施策34 国際的に開かれたまちづくりを進めます

施策の柱

① 国際交流の推進

姉妹友好都市や各分野において提携する都市をはじめ、第20回アジア競技大会などを契機として諸外国との交流を推進するとともに、学生の留学・派遣を促進し、市民の国際感覚の醸成をはかります。

② 多文化共生の推進

外国人市民[※]への情報提供サービスの充実や、日本語学習機会の拡充、災害時の支援体制の確保とともに、日本人市民と外国人市民の交流と相互理解を促進し、日本人・外国人を問わずすべての市民が安心・安全に暮らすことができる多文化共生のまちづくりを推進します。また、外国人児童生徒に対し、日本語教育・相談の充実や円滑な就学の促進などをはかるとともに、日本の学校に早期に適應できるように支援を行います。さらに、外国語や外国の文化にふれる機会を拡充するなど、互いの文化や考え方を尊重する気持ちを育成します。

③ 国際貢献の推進

外国人留學生の生活基盤整備や交流支援などを行い、誘致につなげます。また、JICA（国際協力機構）を通じた研修員の受け入れや技術指導・助言を行う職員の海外派遣などにより、国際貢献を推進します。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5（2023） 年度	目標値 令和12（2030） 年度
地域で国籍の異なる人と交流がある 市民の割合	33.7%	40%	40%
外国人留學生数 [※]	7,701人	9,700人	12,500人

関連する個別計画

◆第2次多文化共生推進プラン ◆第3期教育振興基本計画

※外国人市民：名古屋市内に住所を有する外国籍の人のほか、日本国籍を取得した人や国際結婚によって生まれた子どもなど、外国の文化を背景に持つ人や、外国にルーツを持つ人。

外国人留學生数：市内の高等教育機関（大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）・日本国内の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設）及び日本語教育機関に通う外国人留學生数をさす。出典は日本学生支援機構による。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



現状と課題

① (現状) 平成 29 (2017) 年 10 月に新たにフランスのランス市と姉妹都市提携を結び、本市は現在、6 都市からの使節団の受け入れや、ロサンゼルス交歓高校生の派遣・受け入れ、姉妹友好都市提携周年記念事業などを実施しています。

【課題】各姉妹友好都市の観光や経済を PR する機会を設けるほか、名古屋への来訪を促す取り組みなどを通じ、市民との交流の場を増やすことが必要です。

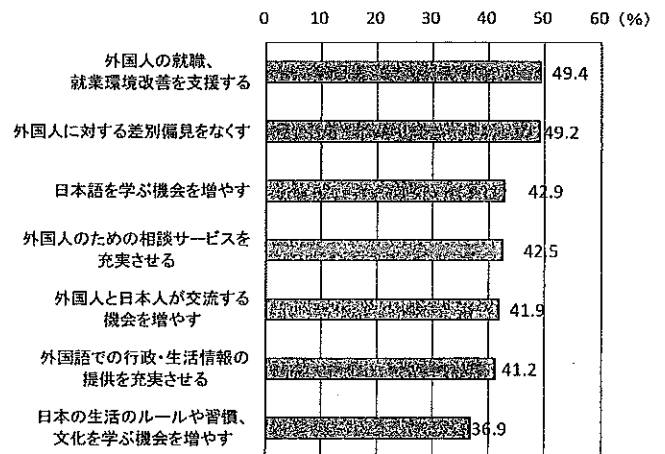
◇ ランス姉妹都市提携調印式



② (現状) 名古屋大都市圏の中核都市として、企業や大学などの高等教育機関が多く集積する本市には多くの外国人市民が暮らししており、近年大幅に増加しています。今後は外国人労働者の受け入れ拡大に向けた法改正に伴い、外国人市民はさらなる増加が見込まれます。

【課題】すべての市民が互いの文化的差異を認め合い、安心・安全な生活を送ることができるよう、多文化共生意識の向上や、外国人市民の生活基盤の安定をはかることが重要です。

◇ 外国人市民が暮らしやすい社会にするために必要なこと (上位 7 項目)



出典：外国人市民アンケート (平成 27 年)

③ (現状) 外国人留学生向け宿舎の提供など生活面における支援をはじめ、開発途上国からの研修員受け入れや職員の海外派遣を通じた技術協力など、国際的な貢献活動を行っています。

【課題】留学生同士の交流を促進するとともに、日本で就職を希望する留学生の支援を行うほか、開発途上国の水問題解決に向けて技術協力を実施するなど、引き続き国際貢献を推進していくことが必要です。

◇ JICA を通じた国際協力活動



施策を推進する事業

① 国際交流の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
395 外国諸都市との交流推進	外国諸都市とのつながりを深め、市民の国際感覚の醸成をはかるため、幅広い交流を通じて両市民の相互理解と友好親善を促進する姉妹友好都市交流と、アジアを中心とした都市と分野を特定した交流を行うパートナー都市交流を推進	姉妹友好都市からの使節団受入実施 姉妹友好都市提携周年記念事業の実施 パートナー都市連携に関する指針の整理	姉妹友好都市からの使節団受入実施 姉妹友好都市提携周年記念事業の実施 パートナー都市と各分野において実益ある交流の実施	観光文化交流局

② 多文化共生の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
396 地域における情報の多言語化	外国人市民に必要な情報を伝えるため、多様な言語・手段による情報提供と、外国人市民が身近に相談できる環境を整備	多言語によるウェブサイトでの情報発信の実施 国際センター情報サービスコーナーの運営 名古屋転入ウェルカムキットの配布 テレビ電話通訳の実施 国際センターにおける各種相談事業の実施	多言語によるウェブサイトでの情報発信の実施 国際センター情報サービスコーナーの運営 名古屋転入ウェルカムキットの配布 テレビ電話通訳の実施 国際センターにおける各種相談事業の実施	観光文化交流局
397 地域社会に対する多文化共生の意識啓発	多文化共生に対する理解を促進するため、地域住民等に対する啓発事業を実施	多文化共生推進月間の実施 NIC 地球市民教室の運営	多文化共生推進月間の実施 NIC 地球市民教室の運営	観光文化交流局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
398 外国人向け防災事業	災害時に外国人市民の安全を確保するため、日本の災害や防災についての情報を提供するとともに、災害語学ボランティア制度の管理運営やウェブサイト等を活用した多言語での情報提供を実施	外国人防災啓発事業の実施 災害時の外国人支援体制の確保	外国人防災啓発事業の実施 災害時の外国人支援体制の確保	観光文化交流局
399 日本語学習の支援	外国人市民が日常に必要な日本語を習得し、地域のコミュニティで円滑に生活できるよう、日本語学習機会の拡充を支援	NIC 日本語の会の運営	NIC 日本語の会の運営 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の実施	観光文化交流局

③ 国際貢献の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
401 留学生の支援	留学生が安心して勉強に専念することができるよう支援するため、国際留学生会館の運営に対し補助するとともに、留学生の誘致につなげるため、ニーズを把握した上で本市に関する情報提供や学生同士の交流を促進	国際留学生会館の運営補助 なごや留学生フレンドシップ事業	国際留学生会館の運営補助 留学生の交流促進	観光文化交流局

施策36 魅力的な都市景観の形成を進めます

施策の柱

① 良好な景観形成の誘導

名古屋のまちをさらに美しく魅力あふれた快適な都市に育てていくため、名古屋城眺望景観保全などの景観法に基づく届け出等において助言指導を行うとともに、景観アドバイザー制度、市長表彰など多面的な取り組みにより、魅力的な都市景観の形成を進めます。

② 地域の特徴を活かした景観まちづくりの推進

市民が名古屋のまちの景観的魅力について誇りと愛着を持って語る事ができるよう、市民との協働のもと情報の共有化・発信を進めて興味関心を高めるとともに、地域における景観まちづくりの取り組みを推進します。

③ 違反広告物対策の推進と安全対策の強化

屋外広告業者の指導などを通じた広告物の適正な設置や管理を促すとともに、市民や地域とも連携しながら違反広告物の簡易除却や是正指導、安全点検に取り組めます。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
名古屋の中で好きなまちの風景がある市民の割合	65.3%	70%	75%
市民参加によって景観づくりを進めている地区数(累計)	11地区	12地区	13地区
違反広告物追放推進団体による簡易除却の実施回数	339回	260回以下	260回以下

関連する個別計画

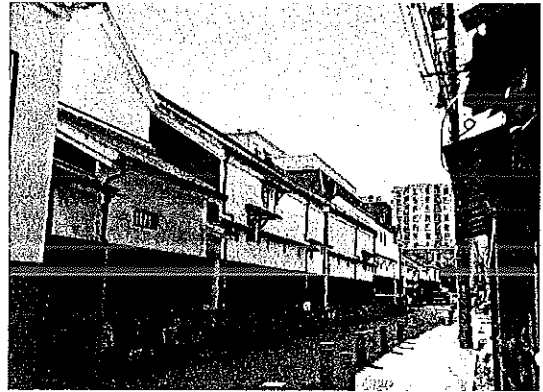
◆都市計画マスタープラン ◆都市景観基本計画 ◆景観計画

現状と課題

- ① (現状) 景観計画を策定し、名古屋城の眺望景観保全に取り組むなど都市景観の創造・保全に関する各種施策を実施しています。特に良好な景観の形成を進める地区を都市景観形成地区として、平成 31 (2019) 年 4 月現在、8 地区指定しています。

【課題】 活気があり歴史の深みを感じられる景観形成の取り組みを進める必要があります。

◇ 四間道都市景観形成地区



- ② (現状) すぐれた都市景観の形成に寄与している建築物等の表彰と景観に関する市民意識の高揚をはかることを目的に、まちなみデザインセレクションを実施しています。

【課題】 地域の特色を活かした景観形成を市民との協働のもと進めるとともに、市民が名古屋のまちの景観的魅力について誇りと愛着を持つことができるよう、関心を高めていく必要があります。

◇ 山崎川の桜 (まちなみデザイン 20 選)



- ③ (現状) 屋外広告業の登録や違反広告物の簡易除却など広告物の不適正な設置や管理の防止につとめるとともに、安全点検の義務化など広告物の安全対策の強化につとめています。

【課題】 違反広告物の除却件数は減少傾向にあります。除却対象とならないものについて適切な是正指導を行うとともに、安全点検を確実に実施する必要があります。

◇ 違反広告物追放推進団体による除却活動



施策を推進する事業

① 良好な景観形成の誘導

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
408 景観重要建造物、都市景観重要建築物等の指定及び助成	歴史的または文化的な価値を有するものや、地域のランドマークあるいはシンボルとして良好な景観の形成に重要な建築物等について、景観重要建造物や都市景観重要建築物等として指定し、保存活用をはかるとともに助成事業を実施	景観重要建造物等 ▶ 指定 62件 助成事業の実施	指定の継続 助成事業の実施	観光文化交流局

施策37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

施策の柱

① 名古屋城など歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり

本市の魅力資源の象徴である名古屋城については、天守閣木造復元などの整備を進め、特別史跡としての価値の継承と魅力向上をはかります。また、武家文化や文化のみち、日本遺産に認定された有松をはじめとした市内の歴史的建造物や町並み、文化財、人々の伝統的な営みの保存・活用などにより、名古屋の歴史・文化を身近に感じられるまちづくりを進めます。

② 文化芸術を活かしたまちづくりの推進

市民一人ひとりが気軽に文化芸術にふれ、創造性を高めることができるよう、未来を担う若手の育成や、市民会館をはじめとする文化施設の改修・整備など、将来を見据えた文化への投資を行い、文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。

③ 市民による魅力発信の促進

名古屋の魅力資源に関する情報を市民へ発信し、市民のまちに対する誇りや愛着（シビックプライド）を醸成・高揚させることで、市民による自発的な市内外への発信を促します。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
満足した名古屋の観光資源として、歴史的な施設と答えた観光客*の割合	69.6% (平成29年)	80% (令和5年)	86% (令和12年)
市の文化施設の利用率	92.1%	90%以上	90%以上
名古屋独自の魅力や文化で自信を持って紹介できるものがある市民の割合	59.8%	78%	82%

関連する個別計画

- ◆名古屋魅力向上・発信戦略 ◆観光戦略 ◆歴史まちづくり戦略 ◆歴史的風致維持向上計画
- ◆特別史跡名古屋城跡保存活用計画 ◆第3期教育振興基本計画 ◆歴史文化基本構想
- ◆文化振興計画

*観光客：本指標における観光客は、名古屋城または熱田神宮を訪れた人を対象としている。

現状と課題

① (現状) 長い歴史を積み重ねながら発展してきた名古屋のまちには、古くから伝わる貴重な歴史資源が数多く残されています。

【課題】文化財をはじめ市内に残されている多くの歴史的資源を活用し、名古屋独自の魅力として市民や観光客へ発信し、誘客へつなげていく必要があります。

◇ 指定・登録文化財件数

区分	国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	135	105	62	302
無形文化財	0	0	2	2
民俗文化財	0	2	51	53
記念物	8	0	9	17
重要伝統的建造物群保存地区	1	—	—	1
合計	144	107	124	375

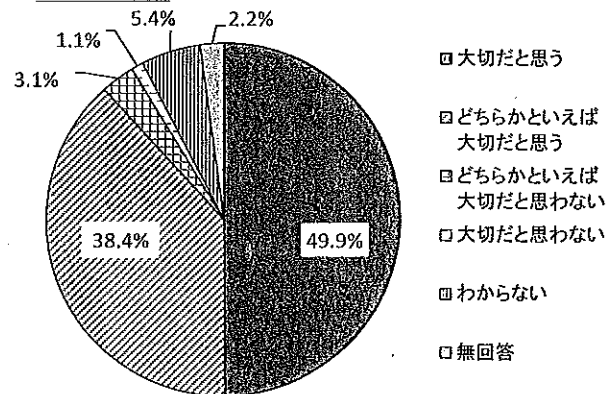
国登録文化財	109	—	—	109
--------	-----	---	---	-----

平成 31 年 4 月 1 日現在
出典：名古屋市作成

② (現状) 文化や芸術にふれることについて大切だと思う市民の割合は 9 割近くに達しています。しかしながら、文化の創造発信の拠点であり市民の文化活動の場でもある文化施設は、昭和 47 (1972) 年に開館した市民会館をはじめとして、多くが老朽化しています。

【課題】今後も身近で文化芸術にふれる機会を市民へ提供するとともに、文化施設を地域の発展を支える交流の場とすることで、まちづくりの核としての役割を果たせるようにしていくことが必要です。

◇ 文化や芸術にふれることを大切だと思う市民の割合

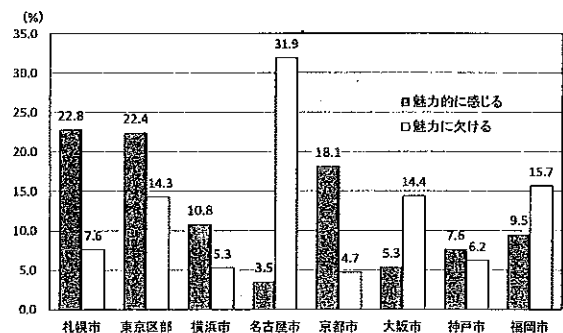


出典：市政アンケート (平成 27 年度)

③ (現状) 平成 28 (2016) 年度の調査に続き、平成 30 (2018) 年度の「都市ブランド・イメージ調査」においても、名古屋は全国 8 都市で最も魅力に欠けるまちで、都市イメージが確立されていないという結果が示されました。

【課題】名古屋の魅力を引き上げ、都市としてのブランド力を高めることで、市民一人ひとりが名古屋独自の魅力に愛着や誇りを持てるようにすることが必要です。

◇ 「最も魅力的に感じる都市」「最も魅力に欠ける都市」に選ばれた割合



出典：名古屋市「都市ブランド・イメージ調査」
(平成 30 年度)

施策を推進する事業

① 名古屋城など歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
417 名古屋城の整備	名古屋城の本質的価値の理解を促進するため、戦災により焼失した天守閣を史実に忠実に木造復元するほか、石垣の保存整備、二之丸庭園の保存整備等を実施	<p>天守閣</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 実施設計 ▶ 木材の製材 <p>石垣</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 修復工事 ▶ 発掘調査・測量 <p>二之丸庭園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 発掘調査・測量 ▶ 保存整備工事 <p>二之丸地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備基本調査 <p>展示収蔵施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 建築工事 	<p>天守閣</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備推進 <p>石垣</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 修復工事 ▶ 発掘調査・測量 <p>二之丸庭園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 発掘調査・測量 ▶ 保存整備工事 <p>二之丸地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 基本構想の策定・推進 <p>展示収蔵施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 供用開始 (令和2年度) 	観光文化交流局
418 名古屋城の調査研究	特別史跡名古屋城跡の価値を明らかにするとともに、適切な保存活用を行い次世代に継承していくため、調査研究センターを新設し、特別史跡名古屋城跡が有する文化財や資料等に関する学術的・総合的な調査研究を実施	他都市事例調査	<p>調査研究センターの新設(令和元年度)</p> <p>調査研究の実施</p>	観光文化交流局
419 名古屋城の魅力向上事業	名古屋城の魅力向上や誘客をはかるため、夜間のイベント等の開催時の開園時間の延長や、民間事業者のノウハウを活用した多彩なイベントの開催などを実施	民間事業者と連携したイベント等の実施	民間事業者と連携したイベント等の実施	観光文化交流局
420 金シャチ横丁構想の推進	名古屋の近世武家文化のシンボルである名古屋城及びその周辺の魅力を一層向上させるとともに、国内外からの来訪者に対して名古屋の魅力を発信するため、金シャチ横丁構想を推進	第二期整備計画の策定	第二期整備計画の推進	観光文化交流局

施策 37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
421 名古屋城を核とした魅力向上の推進	名古屋城を起点とした、有松・桶狭間 ^{はがきま} までの「歴史・文化魅力軸」と、名古屋港地区までの「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの魅力軸における回遊性の向上をはかるため、名古屋城と各エリアを結ぶマップの作成やイベントの実施、水上交通を推進する堀川・中川運河などの各エリアの積極的なプロモーションにより、魅力を創出・発信	実施	実施	観光文化交流局
422 名古屋まつりの開催	まつりを通じて、名古屋の伝統、文化、魅力にふれてもらうため、郷土英傑行列をはじめとした行列行事・会場行事を実施	実施 ▶ 来場者数 2,210,159 人	実施 ▶ 65周年事業 (令和元年度)	観光文化交流局
423 伝統的建造物群保存地区保存事業の推進	歴史的な町並みの維持向上をはかるため、伝統的建造物群保存地区に指定している有松地区において、現状変更行為の許可や伝統的建造物の修理等に対する補助等を実施	規制及び補助の実施 ▶ 補助件数 5 件 (累計) 防災計画の検討	規制及び補助の実施 ▶ 補助件数 25 件 (累計) 防災計画の策定・推進	観光文化交流局
424 町並み保存事業の推進	市内に残る歴史的な町並みを保存するため、町並み保存地区において、指導・助言及び補助を実施	指導・助言及び補助の実施 ▶ 補助件数 407 件 (累計)	指導・助言及び補助の実施 ▶ 補助件数 442 件 (累計)	観光文化交流局
425 歴史的建造物の保存活用の推進	身近な歴史的建造物の保存活用を推進するため、身近な歴史的建造物の登録・認定制度の運用や、歴史的資産を活かしたまちづくりへの啓発活動、経済的支援及びなごや歴まちびとによる技術的支援を実施	実施 ▶ 登録・認定制度の運用 264 件 (累計)	実施 ▶ 登録・認定制度の運用 300 件 (累計)	観光文化交流局
426 歴史まちづくり事業の推進	日本遺産に認定された有松をはじめ「歴史・文化魅力軸」上に位置づけられている東海道や熱田などの歴史・文化の魅力を向上・発信するため、啓発事業や、拠点となる公開施設の整備を実施	実施 ▶ 熱田魚問屋モニユメントの整備 ▶ まち歩きコースの提供などスマートフォンによる情報発信	実施 ▶ 歴史的建造物の公開活用及び歴史的資源の活用による情報発信 ▶ まち歩きコースの提供などスマートフォンによる情報発信	観光文化交流局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
427 文化のみちの推進	名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫である「文化のみち」の魅力向上・情報発信のため、歴史的建造物の保存や歴史的建造物を活用したイベントなどを実施	文化のみちの施設(4施設)の活用・管理 文化のみちにおけるイベントの実施	文化のみちの施設(4施設)の活用・管理 文化のみちにおけるイベントの実施	観光文化交流局
428 伊藤家住宅の保存・活用	四間道町並み保存地区の中心となる愛知県指定有形文化財の伊藤家住宅について、地域の共有財産として保存・活用を推進	建物調査の実施 活用検討調査の実施	保存・活用の推進	観光文化交流局
429 揚輝荘の保存・活用	城山・覚王山地区のまちづくりの交流拠点施設として活用するため、市民共有の歴史・文化遺産である揚輝荘の修復整備を実施	南園 ▶聴松閣の公開 北園 ▶北園の暫定公開 ▶伴華楼等の修復整備方針の検討	南園 ▶聴松閣の公開 北園 ▶北園の暫定公開 ▶伴華楼等の修復整備の推進	観光文化交流局

② 文化芸術を活かしたまちづくりの推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
439 文化芸術活動の支援・活用	文化芸術がまちなかに広がることで、都市の魅力向上や地域活性化をはかるため、芸術家等の創造活動を支援・活用する事業を実施	やっとかめ文化祭の実施 ▶伝統芸能の公演 ▶まちなか披露等 アッセンブリッジ・ナゴヤの実施 ▶名古屋港周辺エリアにおける空き家を活用した展覧会やまちなかを会場とした演奏会等 新たな文化施策推進体制の検討	やっとかめ文化祭の実施 ▶伝統芸能の公演 ▶まちなか披露等 アッセンブリッジ・ナゴヤの実施 (令和2年度まで) ▶名古屋港周辺エリアにおける空き家を活用した展覧会やまちなかを会場とした演奏会等 新たな文化施策推進体制の検討・実施 名古屋独自の文化をまとめた冊子「芸どころ名古屋」の作成・活用	観光文化交流局

施策 37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
440 名古屋フィル ハーモニー交 響楽団の活動 支援	交響管弦楽による音楽芸術の普及 向上をはかり、文化の発展に寄与す るため、名古屋フィルハーモニー交 響楽団による演奏活動を支援	演奏事業 年間 106 回 まちかどコンサート 年間 20 回 魅力向上事業 ▶ 中高生への演奏指導 ▶ 東京公演 ▶ 海外公演の検討	演奏事業 年間 110 回 まちかどコンサート 年間 23 回 魅力向上事業 ▶ 中高生への演奏指導 ▶ 東京公演 ▶ 海外公演	観光文化 交流局
441 あいちトリエン ナーレの開催	愛知・名古屋から新たな文化芸術を 発信し、地域の文化芸術の活性化と 魅力向上をはかるため、現代美術の 国際展「あいちトリエンナーレ」を 3 年ごとに開催	あいちトリエンナー レ 2019 の開催準備	あいちトリエンナー レ 2019 の開催 (令和元年度) あいちトリエンナー レ 2022 の開催 (令和 4 年度)	観光文化 交流局
442 ユネスコ・デザ イン都市なご やの推進	「ユネスコ・デザイン都市なごや」 としての魅力を一層向上させると ともに、国内外に向けて広く発信す るため、創造都市ネットワークを活 用した他都市との交流事業や、若手 の人材育成等を実施	交流・PR 事業 人材育成事業 デザイン啓発事業	交流・PR 事業 人材育成事業 デザイン啓発事業	観光文化 交流局
443 文化施設の運 営・整備	市民文化の振興をはかるため、公会 堂、市民会館、文化小劇場等の文化 施設を運営するとともに、市民会館 をはじめとする文化施設の役割を 整理した上で、市民会館の整備を実 施	文化施設の運営 文化施設のあり方検討	文化施設の運営 新たな市民会館の整 備推進	観光文化 交流局

③ 市民による魅力発信の促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
445 シビックプライド醸成に向けたプロモーションの推進	低迷する市民推奨度を向上させるため、名古屋駅周辺や名古屋城・文化のみちなど本市の魅力資源が集積するエリアを題材とした、誇りや愛着につながる情報を市民に効果的に発信するプロモーションを実施	実施 ▶プロモーションツール（ポスター・パンフレット等）の制作 ▶イベントを活用した魅力発信 ▶名古屋応援会議の開催 ▶魅力資源の発掘・活用にかかる調査研究 ▶名古屋子ども王位戦の開催	実施	観光文化交流局

施策38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します

施策の柱

① 名古屋が誇る魅力資源の磨き上げと観光情報の発信

市内各地に豊富に存在する武将ゆかりの歴史・文化芸術や、なごやめし・ポップカルチャーをはじめとした名古屋の特色や魅力を向上させるとともに、積極的な情報発信につとめます。また、周辺の観光地や旅行会社など民間事業者とも連携し観光プロモーションを行うことで、多くの観光客が訪れる活気あふれる都市をめざします。

② 受入環境の整備と海外からの誘客促進

国内外からの来訪者が楽しく快適に過ごせるよう、民間事業者と連携した観光情報の提供や観光案内の機能強化、情報の多言語化、観光施設等のトイレの洋式化など、受入環境の整備に取り組むとともに、海外からの観光客誘致に向けたプロモーションを実施します。

③ MICEの推進による多様な交流の促進

ものづくり産業の集積をはじめとする当地域の特色を活かし、プロモーションの強化や支援制度の充実などによる全国的・国際的なMICE*の誘致や、その基幹インフラとなる国際展示場・国際会議場の整備・運営に取り組むことにより、国内外の交流を促進します。

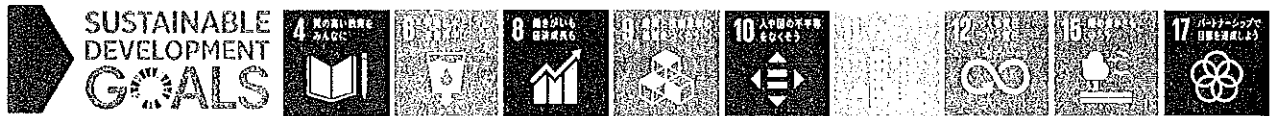
成果指標

指 標	直近の現状値	目標値 令和5(2023)年度	目標値 令和12(2030)年度
観光総消費額	3,656億円 (平成29年)	6,000億円 (令和5年)	1兆円 (令和12年)
観光客の満足度	78.2% (平成29年)	90% (令和5年)	90%以上 (令和12年)
外国人宿泊者数	165万人 (平成29年)	370万人 (令和5年)	520万人 (令和12年)
国際会議の年間開催件数	183件 (平成29年)	248件 (令和4年)	305件 (令和11年)

関連する個別計画

- ◆名古屋魅力向上・発信戦略 ◆観光戦略 ◆東山動植物園再生プラン新基本計画
- ◆第3期教育振興基本計画 ◆市営交通事業経営計画2023

※MICE(マイス)：企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

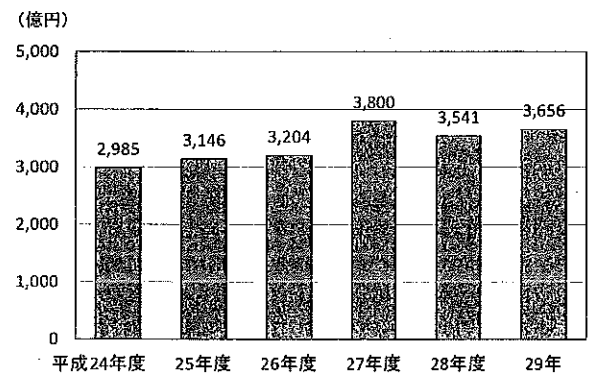


現状と課題

① (現状) 近年、本市を訪れる観光客数はゆるやかな増加傾向にありますが、観光総消費額は伸び悩んでいます。

【課題】 交流人口の拡大や地域経済の活性化をはかるためには、幅広い経済波及効果をもたらす観光を重要な産業の一つと捉え、観光コンテンツの創造・発掘・磨き上げを進めるとともに、本市ならではの魅力や強みをターゲットごとにわかりやすく伝える戦略的なPRに取り組む必要があります。

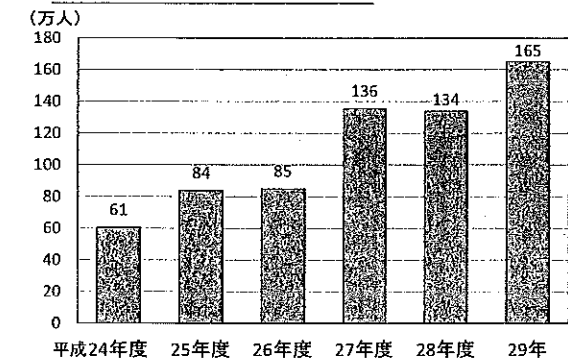
◇ 観光総消費額の推移



※平成29年調査より、調査対象期間を年度から暦年に変更
出典：名古屋市「観光客・宿泊客動向調査」

② (現状) 本市を訪れる外国人は増加傾向にあり、平成29(2017)年の外国人延べ宿泊者数は約165万人となっています。愛知県内の競技場で一部の試合が行われる令和元(2019)年のラグビーワールドカップ2019をはじめ、令和2(2020)年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機として、本市においてもインバウンドのさらなる増加が期待されます。

◇ 訪日外国人宿泊者数の推移

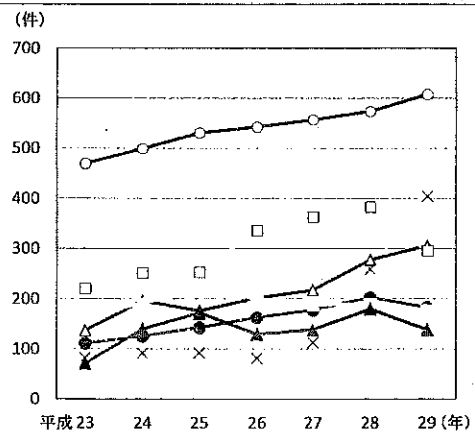


※平成29年調査より、調査対象期間を年度から暦年に変更
出典：名古屋市「観光客・宿泊客動向調査」

【課題】 インバウンドの促進に向けた取り組みのほか、国内外からの観光客のさらなる増加に向け、多様なニーズに対応したきめ細かいおもてなしを行うことが必要です。

③ (現状) MICE は企業活動や研究・学会活動による交流や経済活動など高い付加価値を有していることから、近年その重要性が認知され、MICE 誘致のための都市間競争が激しくなっています。

◇ 国際会議の開催件数の推移 (他都市比較)



平成23 24 25 26 27 28 29(年)
○東京 ×神戸 ▲京都 □福岡
●名古屋 横浜 ▲大阪

出典：JNTO「国際会議統計」

施策を推進する事業

① 名古屋が誇る魅力資源の磨き上げと観光情報の発信

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
446 歴史観光の推進	名古屋の歴史的な魅力の掘り起こしや情報発信に継続的に取り組み、観光客の誘致及び都市ブランドの醸成をはかるため、信長、秀吉、家康などの武将を観光資源として磨き上げ発信するとともに、日本遺産に認定された有松や、桶狭間、大高地区の観光魅力向上や「名古屋おもてなし武将隊」を活用した観光 PR 等を実施	実施 ▶ 信長攻路桶狭間の戦い～人生大逆転街道～事業 ▶ 人生大出世夢街道事業 ▶ 有松・桶狭間・大高地区の観光魅力向上事業 ▶ 名古屋おもてなし武将隊を活用した名古屋城におけるおもてなしや、観光 PR 等の実施 ▶ 本丸御殿 PR 事業	実施	観光文化交流局
447 コスプレホストタウン等の推進	コスプレホストタウン宣言に基づき誰もがコスプレを楽しめるまちをめざすため、コスプレホストタウン PR 隊による市民への啓発、受入機運醸成をはかるとともに、コスプレ・アニメの情報の集約・提供などを行うコスプレコンシェルジュを運営	コスプレホストタウン PR 隊による PR コスプレコンシェルジュの運営 研究会の開催 コスプレ撮影社会実験の実施	コスプレホストタウン PR 隊による PR コスプレコンシェルジュの運営 研究会の開催 市有施設等におけるコスプレ撮影開放の実施 コスプレ拠点エリアの創設	観光文化交流局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
451 観光プロモーションの推進	観光都市としてのイメージ向上、名古屋ならではの観光資源のブランド化を推進するため、全国的に認知度が高いなごやめしをはじめとする名古屋の魅力を活かした PR を検討・実施	物産展などを活用した観光プロモーションの実施 県市連携プロモーションの実施 ▶首都圏 2回 ▶関西圏 1回 なごやめし普及促進事業 愛知県大型観光キャンペーンの実施	物産展などを活用した観光プロモーションの実施 県市連携プロモーションの実施 なごやめし普及促進事業 名古屋の魅力的な観光情報の発信 テレビ塔照明の LED 化	観光文化交流局

② 受入環境の整備と海外からの誘客促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
453 観光案内の充実	観光客へのおもてなしを充実させるため、名古屋地域の玄関口である名古屋駅等において観光案内所を運営・強化するほか、民間事業者と連携し、まちなかでの観光情報の提供につとめるとともに、名古屋駅など主要地点において多言語表記の観光案内板を設置	観光案内所の運営 ▶名古屋市金山観光案内所 ▶名古屋市名古屋駅観光案内所 ▶オアシス 21 i センター 観光案内板の整備 20 基 まちなか観光案内所の運営 316 か所	観光案内所の運営・機能強化 観光案内板の整備 150 基 (5 か年) まちなか観光案内所の運営 316 か所	観光文化交流局
454 なごや観光ルートバスの運行	市内の公共交通機関に詳しくない観光客に対し、市内観光の利便性向上をはかるため、目的の観光施設まで乗り換えることなく行くことができる交通手段として運行	実施 ▶利用者数 392,416 人	実施 ▶名古屋城の東側にバス停新設	観光文化交流局

都市像5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
455 トイレの洋式 化及び機能向 上	観光客をはじめ誰もが快適に利用 できるトイレを整備するため、観光 施設、地下鉄駅等のトイレを洋式化 及び機能向上させるための改修を 実施	実施 ▶対象トイレの洋式 化率 60%	実施	観光文化 交流局 教育 委員会 交通局
456 高級ホテルの 立地促進	大規模な国際会議等のMICE及び富 裕層旅行者の誘致につなげるため、 質の高い宿泊施設の立地促進施策 を実施	検討	実施	観光文化 交流局
459 海外からの観 光客誘致の推 進	海外からの観光客の誘致を促進す るため、名古屋の観光魅力を活かし たプロモーション事業を実施する とともに、他自治体等と連携した広 域観光を推進	海外からの観光客誘 致に向けた観光プロ モーション事業の実 施 外航クルーズ船誘致 事業の実施 他自治体等と連携し たアジア及び欧米地 域に向けた観光プロ モーション事業等 の実施	海外からの観光客誘 致に向けた観光プロ モーション事業の実 施 外航クルーズ船誘致 事業の実施 他自治体等と連携し たアジア及び欧米地 域に向けた観光プロ モーション事業等 の実施	観光文化 交流局
460 ナイトタイム エコノミーの 推進	観光客の滞在時間の拡大や消費拡 大をはかるため、夜の観光コンテン ツを充実させるなどナイトタイム エコノミー※を推進	検討	実施	観光文化 交流局

※ナイトタイムエコノミー：飲食店、演劇、ショー等、夜間におけるまちのにぎわいを活性化させ、消費活動を促すことにより経済的な活性化をはかること。

③ MICEの推進による多様な交流の促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
461 MICE の誘致 推進	国内外の交流を促進し、経済の活性化をはじめ、都市の知名度やイメージの向上をはかるため、ものづくり産業の集積をはじめとする当地域の特色を活かし、全国的・国際的なコンベンション等 MICE の誘致、プロモーション、開催支援の充実、情報収集などを実施	実施 ▶ MICE 開催助成件数 5 件 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用者数 2,756,463 人 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全 示施設平均 55.9% 国際会議場主要 3 ホール平均 83.2%	実施 ▶ MICE 開催助成件数 22 件 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用者数 3,499,000 人 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全 示施設平均 70% 国際会議場主要 3 ホール平均 85% G20 愛知・名古屋外 務大臣会合開催支援 (令和元年度)	観光文化 交流局
462 国際展示場の 運営・整備	MICE を推進するため、その基本インフラとなる国際展示場を管理・運営するとともに、拡大し多様化する MICE 活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施	国際展示場の運営 第 1 展示館の整備 ▶ 公募手続き ▶ 事業者決定 コンベンション施設の整備 ▶ 事業者公募準備 さらなる展示場拡張 検討	国際展示場の運営 新第 1 展示館の供用 開始 (令和 4 年度) コンベンション施設の 供用開始 (令和 4 年度) さらなる展示場拡張 整備の推進	観光文化 交流局
463 国際会議場の 運営・整備	MICE を推進するため、その基本インフラとなる国際会議場を管理・運営するとともに、拡大し多様化する MICE 活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施	国際会議場の運営 屋根付歩廊の整備 大規模改修に向けた 検討	国際会議場の運営 大規模改修等 ▶ 工事着手 (令和 5 年度)	観光文化 交流局

施策39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

施策の柱

① 第20回アジア競技大会をはじめとした大規模競技大会等の推進

令和8（2026）年の愛知・名古屋における第20回アジア競技大会の開催に向けた機運の醸成や、大会後の活用を見据えた競技施設・選手村の整備を進めるとともに、アジア競技大会の開催などを通じて、スポーツの振興だけでなく、交流人口の拡大や国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化などの幅広い施策の推進をはかります。

また、国内外の大規模競技大会やスポーツイベントの誘致・開催により名古屋を盛り上げ、まちの活力向上をはかります。

② スポーツを活かした魅力の創出・発信

名古屋を拠点とするトップ・スポーツチームとの連携による「でらスポ名古屋^{*}」や、大規模競技大会・スポーツイベントなどを活用したスポーツプロモーションにより、「する」「みる」「ささえる」といった幅広い分野でスポーツを新たな名古屋のブランドとして確立していくとともに、スポーツツーリズム^{*}の促進などにより訪問客の増加をはかります。

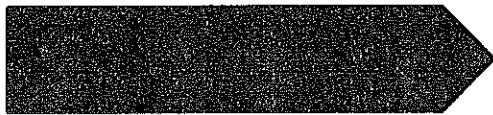
成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5（2023） 年度	目標値 令和12（2030） 年度
第20回アジア競技大会（愛知・名古屋開催）の市民認知度	31.8%	55%	100%
年1回以上プロスポーツ等を直接観戦する市民の割合	31.1%	35%	40%

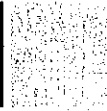
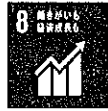
関連する個別計画

◆名古屋魅力向上・発信戦略 ◆観光戦略 ◆第2期スポーツ推進計画

※でらスポ名古屋：市民のスポーツ振興のほか、都市魅力の向上や地域の活性化をはかる活動をするため、名古屋を拠点に活動している13のトップ・スポーツチームと名古屋市で設立した連絡協議会。
 スポーツツーリズム：スポーツを「みる」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「ささえる」人々との交流など、複合的で豊かな旅行スタイルの創造をめざすもの。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題

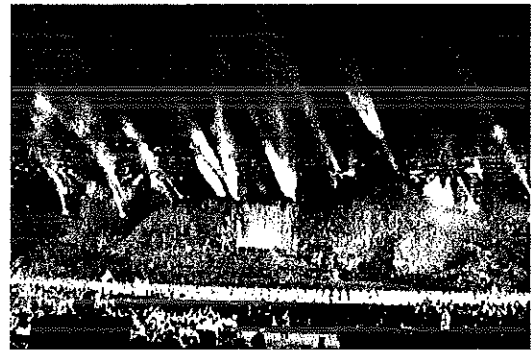
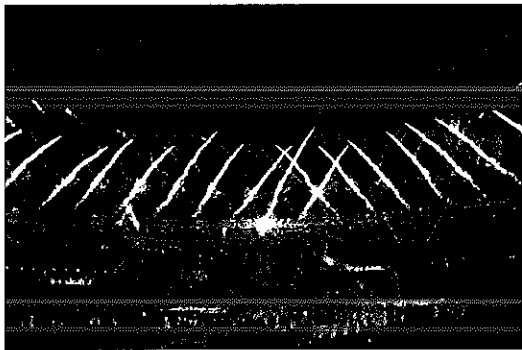
① (現状) 令和 8 (2026) 年に第 20 回アジア競技大会が愛知・名古屋で開催され、選手や大会関係者だけでなく国内外から多くの観客が訪れることが見込まれます。

また、全国的に、多数の観衆が見込める大規模な競技大会やスポーツ合宿、キャンプなどの誘致や、多数の参加者が見込めるスポーツイベントの開催などを通じた地域活性化の機運が高まっています。

【課題】 アジア競技大会の開催に向けて着実に準備を進めるとともに、機運の醸成をはかっていく必要があります。あわせて、アジア競技大会を一過性のスポーツイベントに終わらせるのではなく、交流人口の拡大や国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化などさまざまな分野の発展につなげていく必要があります。

また、国内外の大規模競技大会やスポーツイベントなどの誘致・開催を通じた地域の活性化を推進していく必要があります。

◇ 第 18 回アジア競技大会 (ジャカルタ) の開会式



② (現状) 本市には野球やサッカー、バスケットボールといったプロリーグのほか、フットサルやハンドボールなど数多くの国内トップチームが本拠地を置いています。また、名古屋ウィメンズマラソンは、世界最大の女子マラソンとしてギネス世界記録に認定されています。

【課題】 本市の有する充実したスポーツコンテンツを都市のブランドとして最大限に活用し、スポーツを目的とした訪問客の増加に向けた取り組みなどを進めていく必要があります。

◇ 「みる」スポーツコンテンツ

1. 市内に本拠地を置くトップチーム (平成31年4月時点)	
アメリカンフットボール	名古屋サイクロンズ
サッカー	NGUラブリッジ名古屋 名古屋グランパス
バスケットボール	トヨタ自動車アンテロープス 豊通ファイティングイーグルス名古屋 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ 三菱電機コアラーズ
バレーボール	大同特殊鋼レッドスター
ハンドボール	HC名古屋 大同特殊鋼フェニックス
フットサル	名古屋オーシャンズ
ホッケー	表示灯フラールホッケーチーム
野球	中日ドラゴンズ

2. 主な大規模競技大会等					
定期開催	プロリーグホームゲーム (野球・サッカー・バスケットボール) マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知				
	大相撲名古屋場所				
不定期開催	フィギュアスケート・グランプリファイナル				
	バレーボール代表公式戦 水泳選手権大会				
3. 他都市比較 (大規模競技大会等の開催状況 (平成30年度))					
都市	野球	サッカー	バスケットボール	マラソン※	大相撲
名古屋	○	○	○	○	○
札幌	○	○	○	○	
東京 (23区)	○		○	○	○
横浜	○	○	○		
京都		○	○		
大阪	○	○	○	○	○
神戸		○			
福岡	○	○	○	○	○

※ マラソン大会は五輪代表選考レースとされているものに限る。

出典：名古屋作成

施策を推進する事業

② スポーツを活かした魅力の創出・発信

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
469 スポーツを活かした魅力の創出・発信	スポーツを通じて都市魅力を向上させるため、スポーツツーリズムを推進するとともに、パブリックビューイングの開催支援など、スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりを推進	実施 ▶大規模スポーツ大会来訪者への市内周遊観光促進事業の実施 ▶スポーツにおける市中心部でのにぎわい創出のための社会実験の実施 ▶先進事例調査	実施 ▶大規模スポーツイベントの誘致・開催によるプロモーション効果の調査 ▶スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりの推進	観光文化交流局
470 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業	スポーツを活かした名古屋の魅力を創出・発信するため、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、相手国であるカナダ、フランス、ウズベキスタンとの交流事業を産学官民が連携し実施	ウズベキスタン・ウイーク・イン・ジャパンの実施 カナダ車いすバスケットボール代表チームの事前キャンプ・市民との交流事業の実施	ホストタウン相手国との交流事業の実施 東京 2020 ホストタウン名古屋応援委員会による産学官民連携した機運醸成	観光文化交流局

